

狭山が発祥の地

童句

駄菓子屋が集合場所の夏休み

松永 忠彦

初詣みくじ見せ合う受験生

川東 ひろむ

山焼きの兎捕えし騒ぎかな

小川 栄一

夕立ちが追いかけてくる帰り道

岩田 彰峰

ただいまといいたくない日通知表

柏谷 美智子

カンテラを下げて夜釣の供をする

大野 陽子

※童句は、土家由岐雄氏（入間川）が創始し全国に広がりました。大人が童心に返って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。今月は、5月5日（こどもの日・日）に智光山公園で行われた第10回童句まつりに、全国から寄せられた作品の中から選ばれた入選6句を掲載します

AET CORNER



Martin Neuberger (AET)

My name is Martin Neuberger and I have been an AET in Sayama for two years. I am from America, the State of Ohio. Ohio and Saitama have a special Sister - State relationship. I am excited to be part of this union. Presently, I am working at Sayamadai Junior High School, and earlier this year, I worked at Kashiwabara Junior High School. I think the Japanese English teachers are educators, and the students are very intelligent and motivated. Sometimes the students are a little bit shy when it comes to speaking English, but by playing games in the classroom, it seems to encourage them to speak. Also, the students enjoy using the computer room during their English classes. It makes speaking and listening to English so much easier and interesting. I, myself, studied computers at University and hope to pursue a career in Computer Information Systems after my experience as an AET in Sayama.



池原 昭治の

さやまの伝本

17



妖怪変化の話

狭山市にも妖怪変化のお話がいっつかあります。

昔、笹井のタケが淵には「オタケヘビ」といわれる、まつ白で尾がちよっときれっているヘビがいたといひます。また淵には「タケ坊」という河童がいて、伊草（川島町）のケサ坊と久米（所沢市）のまんだら河童たちとは友だちどうしで馬を川の中へ引きづりこもうとしたという。河童の苦手はお線香のにおいださうです。堀兼の青柳の大六天や東三ツ木の薬師堂のあたりには「天狗」がいて、とき

どき通行人をさらっては、おどろかしておったさうです。北入曾には「井戸山の小豆婆さん」がいて小雨のふる晩にでてきては小豆を洗う音をさせ人を近づけないようにした。柏原の上沢にも「小豆婆さん」がでたさうです。上奥富では「ザックリ婆」といったさうです。そして、水野の雑木林の中では「ムジナ街道」といつてムジナがでてきて、ヤマに入る人をおどろかせていたといひます。柏原と下奥富には「ダイダラボッチ」という巨人が歩いたときにできたという、大きな足あとが残っていました。市内にいた妖怪変化たち、いまどこにいったのでしょうか。

この広報紙は自然保護のため再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

さやま

【狭山市広報】

VOL.494

◆発行日／平成8年9月10日（毎月10・25日発行）

◆編集・発行／狭山市役所企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川11-23-5

TEL.0429-53-1111（内線386）

FAX.0429-55-9713